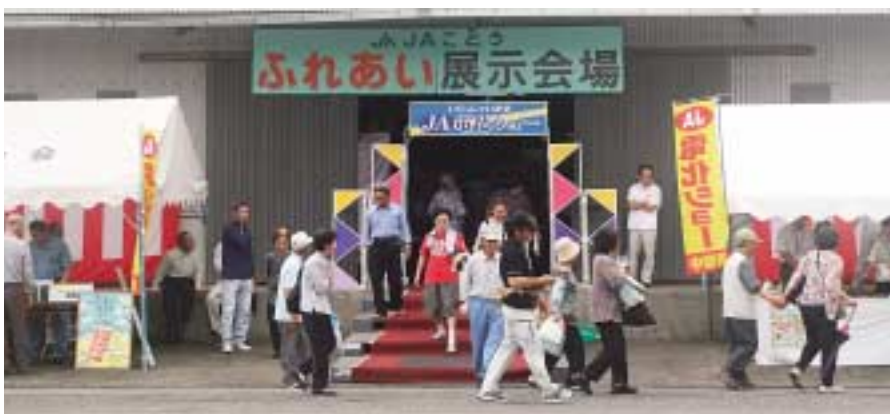


JAからのおたより



JA ごとう

GOTO AGRICULTURAL CO-OPERATIVES



8月号

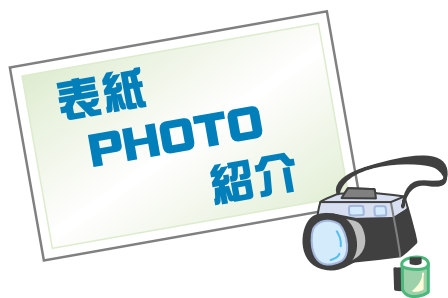
JA ごとう
2010 No 54



CONTENTS 目次

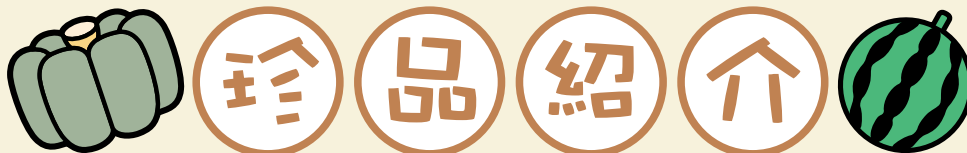


- 2p ・ CONTENTS
・ 表紙 PHOTO 紹介
・ 珍品紹介
- 3p ・ 平成22年 7月期せり市開催
・ 平成22年 7月期せり市防疫体制徹底
- 4p 今月のスポット
- 6p 女性部の活動
- 7p 新 J A の医療共済
- 8p ・ ふれあい電化ショーが無事終了致しました
・ 平成21年度 J A 自動車共済事故処理最優秀賞受賞！！
・ L A 職員紹介
- 9p ・ 第35回「ごはん・お米とわたし」作文・
・ 図画コンクール
・ 平成22年度 J A 共済小・中学生書道コンクール
- 10p 組合員の皆様へお知らせ
- 11p ・ 太陽と緑 五島がうまいの立役者
・ 太陽と緑 五島がうまい（20度・25度）
- 12p ・ 夏は酢の味の知恵
・ 農援隊研修先募集
・ 編集後記



上段左から順に・・・

- ・ 下地区ふれあい電化ショー（7月3・4日）
- ・ はまゆう部会ヘルパー研修会（7月10日）
- ・ ハウスびわ現地検討会（7月7日）
- ・ 平成22年 7月期せり市（7月13～15日）



BIG!



カボチャ 本山支店管内で収穫された

6月下旬頃、野々切町で収穫されたエビスカボチャ。
「これはデカイ！」と量ってみると、なんと約5キログラム！
支店を訪れる方からは「こんなカボチャ見たことなか～」という声が聞かれました。

BIG!



7月中旬頃、富江支店管内で収穫。
窓口の応募箱で「スイカの重さを当てましょう！」キャンペーン中ですので皆さんも参加してみてください。
正解した方、または1番正解に近かった方にはプレゼント（金融の粗品）もあるそうです。

富江支店管内で収穫されたスイカ

平成22年 7月期せり市開催

七月十三、十四、十五日の三日間、口蹄疫により五月から延期していた家畜市場でのせり市を再開しました。三日間のせり市では、延期となった五月期せり分を含めた九四頭の子牛を上場しました。

取引平均価格は、四十九万九千三百円（前回比二・七割安）となり、せり市延期前に近い価格に終わったことで、畜産関係者も安堵の表情を見せていました。

（七月十七日 日本農業新聞掲載）



畜産市場

五島家畜市場 せり市成績表

性別	売却(頭)	最高価格(円)	平均価格(円)
雌	424	637,350	351,535
去勢	520	576,450	439,688
合計	944	637,350	400,093
性別	kg単価(円)	平均体重(kg)	前回比(%)
雌	1,195	294	98.5
去勢	1,395	315	96.1
合計	1,308	306	97.3



せりの様子

平成22年 7月期せり市防疫体制徹底

1 自宅出発前

- ・ 出荷牛の健康チェック表記入
- ・ 人、畜体、車両の消毒(1,000倍酢)
- ・ 長靴、マスクの準備(長靴以外での入場不可)

2 一次消毒ポイント

- ・ チェック表提出
- ・ 獣医の生体検査
- ・ 車両消毒



畜体・車両消毒



細霧装置による人の消毒

3 二次消毒ポイント

- ・ 車両タイヤ消毒
- ・ 運転手、同乗者消毒
- ・ 防護服の着用



防護服の着用



精算金額約 1 億2,800万円

- 平成21年産早出馬鈴薯出荷反省会 -



平成21年産 早出馬鈴薯出荷反省会



掘りたての馬鈴薯

約五〇〇[㍻]の減少となり、作柄も一月以降の低温や日照不足、霜害の影響を受け、小玉傾向となっております。

しかし、市場での販売価格は高く、生産者への精算金額は約一億二、八〇〇万円の実績となりました。

(七月十日 日本農業新聞掲載)

六月三十日、平成二十一年産早出馬鈴薯出荷反省会を福江支店で行いました。

平成二十一年産早出馬鈴薯は約三、〇五五[㍻]の作付面積で、前年産に比べると

単価は平年よりやや高め

- 平成22年産ソラマメ出荷反省会 -



平成22年産 ソラマメ出荷反省会

七月二日、平成二十二年産ソラマメ出荷反省会を本店で行いました。

平成二十二年産のソラマメは二月～三月の低温や日照不足、霜害などの被害を受け、平年より十日程遅れた四月下旬から五月上旬が出荷のピークとなりました。

出荷は遅れたものの、四月中旬から上旬にかけてキログラム単価は六五〇円を超え、平均キログラム単価も四〇二円と平年よりやや高めを推移しました。

(七月九日 日本農業新聞掲載)



ソラマメの畑

教室に「緑のカーテン」

- 奥浦小ゴーヤの栽培 -



ゴーヤで緑のカーテン

管内にある五島市立奥浦小学校では、総合的な学習の時間に六年生十三名がゴーヤを育て、緑のカーテンを作っています。

同校では地域の人や環境に目を向け、自分たちの生活と結びつけることで生きる力を養おうと総合的な学習の時間に取り組んでいます。

JAでは、こうした学校の取り組みを支援していこうと去年からゴーヤの苗や土、肥料を配布し、「緑のカーテン」ができるよう指導を行っています。今年は一十四本の苗を配布し、児童が五月の総合的な学習の時間に苗を植え、教室横のベランダで育てています。

ゴーヤは天井に向けて伸びていき、教室の窓を覆う「緑のカーテン」となりました。

(七月八日 日本農業新聞掲載)

前年産よりも大玉傾向 - 本山管内春作カボチャの出荷 -



本山管内での春作カボチャの出荷

本山支店管内では、六月三十日より平成二十二年産春作カボチャの出荷が始まりました。同支店管内では三十一戸の農家が作付面積約五三〇㍊で栽培しています。本年産は週三回の出荷で一日平均約十㍏を出荷しており、同支店管内全体で約一〇五㍏を見込んでいます。

低温などの影響を受けて、前年産に比べると十〜十四日程生育が遅れ、着果数は少ないものの、前年産よりも大玉傾向であり、平均反収は前年並の十㍏あたり約二㍏を計画しています。(七月十六日 日本農業新聞掲載)

平成23年産に向けて - ハウスびわ現地検討会 -



三井楽地区での現地検討会

七月七日、管内の九つの農園を巡回し、ハウスびわの現地検討会を行いました。

現地検討会では二十三年産の栽培に向けて、収量向上のための障害果対策や今後の管理のポイントを重視して視察を行いました。

本年産は年明け後の日照量が平年よりも少なく、糖度がのらなかったことから収穫時期を遅らせることとなりました。

その結果、収穫量は前年産に比べるとやや減少傾向となったものの、出荷は順調で、販売単価は一キログラムあたり二、〇七六円と前年産を上回りました。

(七月二十二日 日本農業新聞掲載)



ハウスびわ

約971aへ面積拡大 - 平成21年産スナップエンドウ出荷反省会 -



平成21年産 スナップエンドウ出荷反省会

J Aごとうスナップ部会は七月九日、平成二十一年産スナップエンドウ出荷反省会を同JA本店で行いました。

平成二十一年産のスナップエンドウ栽培戸数は一〇四戸、作付面積は約九七一㍊と前年作の七五二㍊を約二一九㍊上回る面積拡大となっています。

スナップ部会は平成二十一年度ながさき農林業大賞の高度生産集団部門(いきいきファーム)において長崎県知事賞を受賞しており、安全・安心な農林産物生産販売、農林産物及び農林産加工品の高付加価値化、産地育成などにおいて高い評価を受けています。

(七月十五日 日本農業新聞掲載)



転倒骨折を防ぐために - はまゆう部会ヘルパー研修会 -

勢を見せました。に役立つ後の生活に役立てていく姿



筋力アップ運動

十名が出席し、家庭でできる「転倒骨折予防体操」について講話と実習を行いました。同研修会では、ストレッチ運動と筋力増強運動を中心とした運動方法の講習を行い、運動に際しての留意点や運動時の要点を確認しました。参加者からは「なかなかいい運動になるの自分で取り組んでみよう」という声も聞かれました。今後の生活に役立つ姿を見せました。



ストレッチ運動

はまゆう部会は七月十日ヘルパー研修会を行いました。研修会には、JA本店、五島中央病院の理学療法士四名を含めた約二十名が出席し、家庭でできる「転倒骨折予防体操」について講話と実習を行いました。

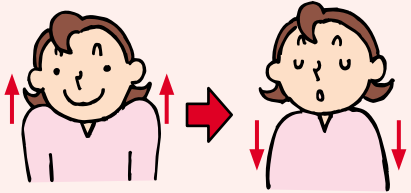
転倒骨折予防体操



研修会での一部の運動を紹介します！

ストレッチ運動

首の体操



ゆっくり深呼吸しながら行いましょう

- ①首 前後に倒す
- ②首 左右に倒す
- ③首 左右横に向く
- ④首 大きく左右に回す

筋力アップ運動

腹部の筋



- ①両足を開いて椅子に座ります。
- ②左の肘と右の膝を体の前でくっつけるように近づけます。
- ③もとに戻します。
- ④反対側の肘と膝を同じように近づけます。

介護寸劇を楽しむ参加者たち



大いに盛り上がりました。五島弁が飛び交う寸劇中は参加者から笑い声が多く聞かれ、会場は

はまゆう部会岐宿支部は七月十六日、岐宿町開発センターでミニデイサービスを実施しました。ミニデイサービスには約七十名が出席し、体操や切り絵づくり、介護寸劇などを楽しみました。中でも参加者たちから好評だったのが部会員による介護寸劇でした。寸劇では認知症について取り上げ、認知症への対応方法を改善前と改善後の二パターンで表現し、わかりやすく解説しました。

いつまでも明るく元気に - はまゆう部会ミニデイサービス -



頭の体操

ふれあい電化ショーが無事終了致しました



来場者へ記念品進呈

七月三日、四日の二日間にわたって開催しました下地区電器・家具合同展示会が無事終了しました。展示会には約一、一〇〇名というたくさんのお客様にお越し頂きました。たくさんのご来場、本当にありがとうございました。

展示会では、地デジ対応の液晶テレビや今の季節には欠かせないエアコン、今回のおすすめ商品でもあるLED電球が売れ筋商品となりました。

今後もJAでは、このような場を作り、総合事業としての役割を果たすとともに、



展示会会場内

地域住民の生活を支える活動を通して地域に貢献して参ります。今後ともJAを宜しくお願い致します。

平成21年度JA自動車共済 事故処理最優秀賞受賞!!



組合表彰の部 最優秀賞受賞

JAグループでは、事故処理サービス全般の質の向上を図り、契約者などのJA共済に対する満足度・利便度向上を目的に表彰を行っています。表彰選定は事故処理における「迅速化」「適正化」を指標化して行い、その評価の高いJAが対象となります。

今年度はJAことうが組合表彰の部で最優秀表彰を受けました!

LA職員紹介

営農経済センター

脇田 大史



四月からライフアドバイザー（LA）として新しいスタートをきりましたが、今まで共済事業における推進などを行ったことがないので、不安や

崎山支店

藤田 正人



今年度よりライフアドバイザー（LA）となり、異動直後は先行き不安な面ばかりでしたが、LA研修と三年間の共済窓口業務の経験を活かしてお客様のニーズに合ったよ

りよい保障を提案していきたいと考えています。

また、現在JA共済で取り組んでいる3Q訪問活動（ご契約頂いているお客様への保障の確認と見直し）を通じて組合員とのふれあいを大切に、共済以外のことも気軽に相談してもらえるようなLAになれるように頑張ります。

これから皆様のお宅に訪問した際はよろしくお願致します。

重圧が重くのしかかっているのが現状です。

しかし、それと同時にLAとしての責任ややりがいも強く感じています。

一日でも早く先輩たちに追いつけるように、この一年を勉強の一年とし、自身の知識・能力の向上に努めていきたいと思っております。

皆様よろしくお願致します。

第35回

作文・図画コンクール

「ごはん・お米とわたし」

1. 課題（作文・図画両部門共通）

毎日のごはんでおいしかったことや家族とのコミュニケーション、さらにお米に関しての思い出や考えたことなどを素直な気持ちで自由に表現してください。

2. 応募資格

小学校および中学校に在籍する児童・生徒、盲学校、聾学校および養護学校の小学部、中学部。

3. 応募規格（枚数・大きさ）

【作文部門】

- ・ 1部：小学生1年生～3年生
(400字詰原稿用紙2枚以内、またはマス目の大きい原稿用紙で800自以内)
 - ・ 2部：小学校4年生～6年生
(400字詰原稿用紙3枚以内)
 - ・ 3部：中学校1年生～3年生
(400字詰原稿用紙4枚以内)
- (注) 1枚目作文用紙の1行目に作品の題名、2行目に学校名、学年、氏名、3行目から本文を書き出してください。

【図画部門】

- ・ 1部：小学校1年生～3年生
 - ・ 2部：小学校4年生～6年生
 - ・ 3部：中学校1年生～3年生
- 各部ともB3判(364^{mm}×515^{mm})相当の市販画用紙を使用。画材は特に制限しません。

4. 締切日

平成22年9月6日(月) JA長崎県中央会必着

お問い合わせは... JAごとう本店総務部まで
(72) 6211

平成22年度 JA共済小・中学生書道コンクール

1. 課題

区分	半紙の部	条幅の部
小学生	第1学年	ま め つ み き
	第2学年	す が た と ん ぼ
	第3学年	なわとび くわの 実
	第4学年	気 球 大 き な 空
	第5学年	畑の作物 高 い 理 想
	第6学年	無限の力 新 し い 発 見
中学生	第1学年	太陽電池 理 想 の 実 現
	第2学年	農業体験 郷 土 の 伝 統
	第3学年	国際理解 生 命 の 神 秘

2. 応募資格

JAの所在地区内の小・中学校に在籍する児童・生徒とします。

3. 応募点数

- ・ JAごとうコンクール：半紙、各幅両部門とも1人各1点。
- ・ 県コンクール：県コンクールは、JAコンクールにおける半紙、条幅両部門の優秀作品とし、JAの規模等を考慮した応募点数といたします。

4. 締切日

- ・ JAごとうコンクール：平成22年9月9日(木)必着
学校を経由したのもののみ受付(個人での受付は行っていません)

お問い合わせは... JAごとう本店共済課まで (72) 6213

組合員の皆様へお知らせ

22年9月27日より、上地区において 支店・出張所が統廃合致します

統廃合の目的は**金融機関としての機能強化**です

POINT

1

効率的店舗配置の実現

現在の支店・出張所規模では実施が難しい新たな金融商品の提供や暮らしの相談機能など専門的・高度なサービスを担当職員の複数・集中配置により実現します。

POINT

2

渉外担当職員による 巡回サービスの開始

渉外担当者が組合員の皆様のところへ出向くことで、従来の窓口でのサービスよりもJAをより身近に感じて頂ける、きめ細かいサービスを実現します。

1 3つの営業店舗が1つになります

上五島支店

(Aコープ青方店建物
貯金・貸付・共済業務)

上郷出張所

新魚目支店

(浦桑・榎津・丸尾・似首)

今ある**ATM**は
そのまま使えます

8月2日より稼働

新しく**ATM**を
設置します

JAごとう
上五島支店

青方郷1578
現在の
(営農経済センター)

TEL:
52-2722

2 名称が変わります

北魚目出張所

JAごとう
新魚目支店

立串郷570-2
(現在の北魚目出張所)

TEL:55-2004

若松支店、有川支店は今まで通り
営業致します

今後もJAごとうを
宜しくお願い致します



太陽と緑

五島がうまいの立役者

No. ③ 五島市上崎山町
ふるさと よしひで
古里 善秀さん(58)



作業の様子

また、Uターン者や若い世代など多くの人に農業に携わってもらい、農業を活性化したいと畑の整備にも取り組んでいます。「自分が作ったものが予想通り、それ以上の出来だった時に農業が楽しいと感じる」と話してください。古里さんは、ハウスの整備や面積の拡大を進めていきたいと今後も意欲的に農業に取り組み姿勢を見せてくださいました。

古里さんはブロッコリー約七十五アール、ソラマメ約三十アール、キュウリ約十二アール、スナップエンドウ約八アールを栽培されています。奥様が園芸に興味を持ったことがきっかけで、十年程前から塗装業を営みながら農業を始めた古里さん。現在は塗装業も行っているそうですが、二年程前から農業が中心になっていっているそうです。「一番いいものを作りたい」という思いから栽培の過程や生育状況について奥様と話し合ったり、他の農家の方やJAの指導員に積極的に質問をし、日々勉強されています。

試行錯誤の毎日



古里さんの育てたキュウリ



太陽と緑
五島がうまい
(25度)



太陽と緑
五島がうまい
(20度)

本格麦焼酎「太陽と緑 五島がうまい」は、原料や麹に五島産大麦「ニシノホシ」を100%使用したJAごとうのプライベート・ブランド商品です。

消費者からは「飲みやすくおいしい」と好評です。是非、ご賞味ください。

お問い合わせ先・取扱店は...
各Aコープ または JAごとう経済部 JAグリーンまで
☎0959 74 1200

夏は酢の味の知恵

食文化史研究家 永山 久夫

「春は苦みで、夏は酢の味、秋は辛味、冬は油を心して食うべし」

昔から伝えられてきた食による健康法で、昔の人は季節ごと取るべき味の特徴を覚えることによつて、暑さ、寒さに負けない健康管理をしてきました。

春の山菜や木の芽の苦みには、消化を助ける成分やビタミンCが多く、夏の酢の物には夏ばてを防ぐ力があります。秋の辛味は食欲増進剤であり、冬に備えてエネルギーを蓄え、冬の油料理は寒さに打ち勝つための体力をつけます。

特に重要なのは夏で、クーラーなどのない昔は、猛暑を乗り切るために大変苦労しました。暑いと寝不足になったり食欲が

落ちたりして、スタミナまで低下し免疫力が弱つて病気にかかりやすくなるからです。

そこで、暑さに負けずに長生きするため、昔の人は「夏は酢の味」としました。夏の料理という

と、キュウリ、ワカメ、貝類などの酢の物、にぎりずし、刺し身の酢みそあえ、酢をたっぷり使った野菜サラダなどがすぐに浮かんできます。実は刺し身の酢みそあえは、古代の人たちにとつてもごちそうでした。『万葉集』に次の歌があります。 醬酢に蒜つき合て鯛願う 我にな見えそなきのあつもの

意味は「醬（現代でいえばモロミ）に酢を混ぜ、突きつづしたニンニクを入れて作ったたれ汁で、



タイの刺し身を食べたいなあと願っている私に、ナギ（ミズアオイのこと）で古代は野菜として食用の熱汁のような暑苦しいものなど見せないでくれ」で、醤油は現在の二杯酢に近いものです。 酢の酸味は酢酸やクエン酸などの有機酸で、単に食欲を増すだけではなく、強い殺菌作用や血液のサラサラ効果もあります。 酢の物を取った後、体が軽くなるのは血行が良くなり、体にたまりやすい乳酸などの疲労物質が解消されるためです。

農援隊研修先募集



ながさき農援隊は農業支援活動を通し、農業技術の習得だけでなく、先進農家の経営戦略や考え方に触れ、実践力の高い新規就農者などになることを目的として支援活動を行っています。

J Aごとうでは、このような農援隊の研修（支援）の受入先を募集しています。

対象となるのは、J Aごとうの組合員で認定農業者の方になります。

農援隊の受入を希望される方は...

J Aごとう農産園芸部内農援隊事務局（担当 里中）

☎72 - 6214

までお気軽にお問い合わせください。

編集後記

ジメジメした梅雨も終わり、暑い日が続いています。暑いのが苦手な私ですが、すつきりと晴れ渡った夏空は、見ていてとても気持ちがいいです。

この間、とても天気が悪かったので「家にいるのもつたいない！」と思い、高浜海水浴場までドライブしてきました。白い砂浜と鮮やかな青い海がとてもき

れいで、ついはいでしまいました。海は海水浴にきた大勢の人で賑わっていて、まさに「夏本番」という感じでした。

せつかくの楽しい夏！ 体調管理をしっかりとって、夏バテすることなく元気な過ごし方ですね。皆さんも、しっかりと水分を取って熱中症などにならないよう気をつけてください。

（田上 幸菜）

